

事業者のみなさまへ

●がん治療と仕事の両立は可能です！

がんの罹患者数は年々増加し、日本人の2人に1人ががんになると言われており、そのうち3人に1人は、20歳から64歳のいわゆる就労世代での罹患です。

早期発見と治療方法の進歩により、多くのがんの生存率は向上しており、働いている方のうち約7割は、治療と仕事を両立しながら同じ職場に復帰していると言われています。

がん治療と仕事の両立において、事業者・従業員の不安の軽減や相互理解を深めるために、是非このリーフレットをご活用いただきたく思います。

治療を受けながら仕事を続けるために

●利用できる公的制度を確認しましょう。

□高額療養費制度

同一月にかかった医療費の自己負担額が高額になった場合、自己負担限度額を超えた分が、あとで払い戻される制度です。

□傷病手当金

会社を休んだときに、療養中の生活保障として支給する制度です。

●会社員として持っている権利を知って下さい。

□就業規則どうなっているだろうか？

休職期間や、休職期間中の給与の条件など、確認をしてみましょう。

□辞めると失ってしまう権利がないかの確認も忘れずに？

会社に属していることで、ご加入の保険組合独自の高額療養費制度や傷病手当金の付加給付制度が設けられている場合があります。

●治療に関する情報の理解を深めて下さい。

□治療の時間的見込みは？

□これから受ける治療の副作用が、就労にもたらす影響は？

倦怠感・外見変化・消化器症状・排尿障害など、がんの部位や治療内容により、生じる副作用も異なります。



相談窓口一覧

●がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター

療養生活全般の様々な相談に応じます。その病院に通院してなくても、どなたでも無料でご利用いただけます。お気軽にご相談ください。

病院名および相談窓口	電話番号	対応曜日・時間
国立がん研究センター東病院 サポーターブケアセンター/ がん相談支援センター	04-7134-6932 (直通)	月～金： 8時30分～17時15分
東京慈恵会医科大学付属柏病院 がん相談支援センター	04-7167-9739 (直通)	月～土：9時～16時（土曜日は面談のみ）
松戸市立総合医療センター がん診療対策室 (がん相談支援センター)	047-712-2511 (代表)	月～金： 8時30分～17時
船橋市立医療センター がん相談支援センター	047-438-3321 (代表)	月～金：9時～17時
東京歯科大学市川総合病院 がん相談支援センター	047-322-0151 (代表)	月～金：9時～17時 土（第2を除く）： 9時～12時
順天堂大学医学部附属浦安病院 がん相談支援センター	047-3821341 (直通)	月～金：9時～16時30分 土（第2を除く）： 9時～12時30分
千葉県がんセンター がん相談支援センター (患者総合支援センター内)	043-264-6801 (直通)	月～金：9時～17時
千葉大学医学部附属病院 がん相談支援センター (患者支援センター内)	043-226-2698 (直通)	月～金：9時～16時30分 (面談は要予約)
千葉医療センター がん相談支援センター (地域医療連携室内)	043-251-5320 (直通)	月～金：9時～16時
日本医科大学千葉北総病院 がん相談支援センター	0476-99-2057 (直通)	月～金：9時～16時 土：9時～15時
旭中央病院 がん相談支援センター (医療連携福祉相談室)	0479-63-8111 (代表)	月～金： 8時30分～17時15分
さんむ医療センター がん相談支援センター	0475-82-2521 (代表)	月～金：8時30分～12時/ 13時～17時15分
亀田総合病院 総合相談室 (がん相談支援センター)	04-7092-2211 (代表)	月～金：9時～16時 土：9時～11時
君津中央病院 がん相談支援センター	0438-36-1071 (代表)	月～金：9時～17時
千葉ろうさい病院 がん相談支援センター	0436-74-1111 (代表)	月～金：9時～16時

●千葉産業保健総合支援センター※雇用者も相談可

治療を受けながら仕事を続けたい方、両立支援に取り組む事業者の方からの相談を受け付けています。両立支援促進員（社会保険労務士や保健師などの専門家）が、事業者と労働者（患者）の間の仕事と治療の両立に関する調整、両立支援プラン・職場復帰支援プランの作成についての助言・支援を行います。

☎ 043-202-3639

がん対策審議会 がんと共生推進部会 令和5年2月9日(木)	参考資料 1
がん対策審議会 がんと共生推進部会 令和4年2月10日(木)	資料2

がん患者の治療と

仕事の両立支援情報

～大切な従業員ががんになったら～

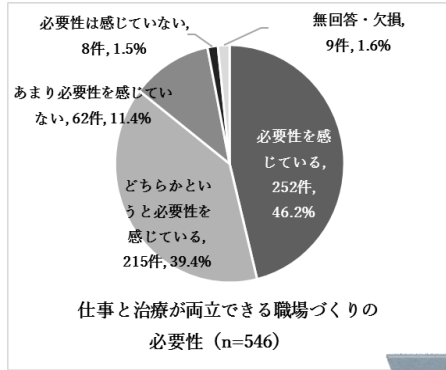
(案)



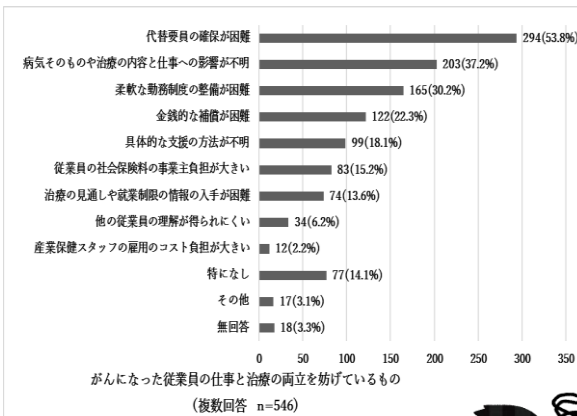
就労調査

●事業所実態調査より

がんになった後も安心して働き続けられる、仕事と治療の両立が実現できる職場づくりについて8割が必要性を感じています。



がんになった従業員の仕事と治療の両立を妨げているものは何か？
(複数回答)



取組事例

Q 就業時間の配慮の方法

A . ~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



### Q 症状に対応した作業内容の変更

A . ~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



Q 医療機関の相談窓口に相談する場合の手続き

A . ~~~~~
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



### Q 受診時に従業員と一緒に医療機関で説明を受ける場合の手続き

A . ~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



復職・就労継続支援に関する情報提供依頼書について

千葉県では、がんになっても治療と仕事が両立できるよう、患者の情報を患者本人と会社、主治医が共有するための情報提供書を作成しました。

・「従業員が復職するにあたり、何に気をつけたら良いのだろうか？」

・「こういう部分で会社に配慮してほしい」などの情報を患者、会社、主治医と共有することができるツールで、

「ちばがんナビ」で様式のダウンロードと使い方の説明が確認できます。

